

平成30年度 第1太田市公共工事入札等監視委員会 次第

日 時：平成30年11月16日（金）

午後3時00分 から

場 所：本庁舎4階 4B会議室

1 開 会

2 挨拶

3 事務局紹介

4 審 議

(1) 平成30年度上半期入札契約状況について

- ・平成30年度（H30.9月末まで）入札・契約状況
- ・くじ引きの状況（契約検査課取扱い案件）

(2) 平成30年4月～平成30年9月期入札契約の内容審査について

- ・内容審査 No.1 ①太田市社会教育総合センター舞台照明設備改修工事
②太田市社会教育総合センター舞台機構設備改修工事

[指名競争入札]

- ・内容審査 No.2 ①市内一円（南部）路面標示工事
②市内一円（北部）路面標示工事

[条件付き一般競争入札(小規模型)]

- ・内容審査 No.3 (仮称) 太田市立北中学校区義務教育学校施設整備設計業務委託

[随意契約]

5 その他

6 閉 会

平成30年度 第1回太田市公共工事入札等監視委員会 会議概要

開催日時	平成30年11月16日(金) 15:00～16:10
開催場所	本庁舎4B会議室(4階)
出席者	[委員] 小川委員長、田島副委員長、長谷川委員、下山委員、大谷委員(欠席) [事務局] 高島総務部副部長 以下 4名

1 開 会

2 あいさつ

《小川委員長》

平成30年度第1回の太田市公共工事入札等監視委員会の開催ということですが、再任でまた同じメンバーですので、あまり堅苦しくなく、忌憚のない意見の言い合える委員会にしていきたいと考えておりますので、皆様ご協力をお願いいたします。

昨今の経済状況を鑑みますと、10月までは株価もよかったものの、最近では多少弱含んでしまっている状況で、地元企業の件もいろいろと報道され、年末に向けて厳しい状況にあるようでございます。ぜひ地元企業の皆様には頑張ってください、この難局を乗り越えていただきたいと思っております。

この入札監視委員会でも、それに何かサポートできるような形で協力ができればいいかなと思っておりますので、活発に、積極的に議論していただければと思います。本日もよろしくお願いいたします。

《総務部副部長》

太田市の入札状況ですが、今年度は特に大きな問題もなく今現在まで進んできているところですが、建設業界の方では、2020年のオリンピックに向けて、労務資材等の影響も受け、先行きに不安の声も聞いております。また報道では地元企業の件がいろいろと取り上げられ、本市にとっても大きな影響が予想されると報道されておりますが、本市としても今後の動向を注視していかなければならないと感じています。いずれにいたしましても、我々の業務は、公正・公平な入札執行を常におこなって行くということが使命ですので、それに基づいて、しっかり丁寧に対応してまいりたいと思っております。

本日は上半期の入札契約状況報告と3案件の内容審査をお願いすることとなりますが、この委員会での提言についても今後の業務の参考にしていきたいと思っておりますので、是非、いろいろな角度から忌憚のないご意見をいただけることを期待しております。本日はよろしくお願いいたします。

3 事務局紹介

4 議 題 (進行:委員長)

(1) 平成30年度上半期入札契約状況について

◆平成30年度(H30年9月末まで) 入札契約状況について (事務局より説明)

項目	件数	予定価格(円) (税抜き)	落札金額(円) (税抜き)	単価平均落札率 (対予定価格)	加重平均落札率 (対予定価格)
●競争入札 (対前年比)	282 (111.46%)	2,945,090,000 (112.96%)	2,544,190,000 (113.69%)	82.92% (0.71ポイント)	86.39% (0.55ポイント)
・条件付一般競争入札 (通常型)	181	2,503,880,000	2,167,790,000	82.53%	86.58%
うち総合評価落札方式	0	0	0	0.00%	0.00%
・条件付一般競争入札 (小規模型)	98	304,630,000	254,770,000	83.41%	83.63%
・指名競争入札	3	136,580,000	121,630,000	90.47%	89.05%
● 随意契約	3	127,090,000	124,910,000	92.97%	98.28%
うちコンペ又はプロポーザル	1	64,760,000	64,760,000	100.00%	100.00%
合 計 (対前年比)	285 (109.20%)	3,072,180,000 (110.27%)	2,669,100,000 (110.64%)	83.02% (0.32ポイント)	86.88% (0.29ポイント)

◆くじ引きによる落札件数の状況 (H30.4.1～H30.9.30) (事務局より説明)

種 別		H30年度(上半期)	H29年度(上半期)
工 事		75.3%	72.4%
業務委託	建設コンサルタント	25.9%	20.0%
	役務	85.7%	82.6%
	業務委託 計	71.2%	66.4%
合 計		73.7%	69.7%

《 (1) 平成 30 年度入札契約状況について審議結果 》

◆平成 30 年度 (H30.9 月末まで) 入札・契約状況について

◆くじ引きの状況 (契約検査課取扱い案件) について

委 員 : 資料を見ますと、くじの割合がずっと高い、年々上昇が続いている傾向が見られるが、太田市としては何に原因があると考えているのですか？

事 務 局 : 資料の種別を見ていただくと、「業務委託」の「役務」になりますが、樹木剪定等のくじ率が 85.7%ということで、かなり上がっております。樹木剪定等のくじ率の高さは、今に至って始まったものではありませんが、樹木剪定については、入札公告の際、予定価格、最低制限価格を公表せず、事後公表という形で執行している状況だが、業者も予定価格の開示請求をしたり、各業者とも色々と研究している中で積算能力が向上していることから、適正な積算をして導き出した価格で入札した結果、相対的にくじになる率が高くなったという状況になったと事務局ではとらえているところです。

委 員 : 前回の委員会で樹木剪定等は、ほとんど人件費が占めていると聞いたが、今年度もこのような状況で業務は問題なく履行されているのですか？

事 務 局 : 業務の実施状況を見ますと、最低制限価格での落札となっておりますが、業務内容は適正に執行されており、低価格による落札だから、施行内容がよくないという報告もないことから、現状では、業務は概ね適正に執行されていると考えています。

(2) 平成 30 年 4 月～平成 30 年 9 月期入札契約の内容審査について

○内容審査 No.1 [指名競争入札]

- ① 太田市社会教育総合センター舞台照明設備改修工事
- ② 太田市社会教育総合センター舞台機構設備改修工事

●経過説明 (事務局より説明)

①、②の案件は、太田市社会教育総合センターの改修工事でございます。

当該センターは、竣工から35年を経過し、ホール内設備等についても老朽化が目立つ設備を少しずつ改修してきておりましたが、今年度、大規模改修として、舞台照明や調光盤等の舞台照明設備の改修工事、及び吊物マシンや滑車、ワイヤーロープといった舞台機構設備の改修工事を行うものです。

いずれの工事も、工事としては特殊性が強く、専門的な技術や資格が必要なため、条件付一般競争入札から指名競争入札へ手続き変更し、①案件については、ホール舞台照明における専門的知識及び技術を有する業者 8 者、②案件については、ホール舞台機構における専門的知識及び技術を有する業者 7 者を指名し、競争入札を実施しました。

※ 本来、本市の入札においては、条件付一般競争を採用し、市内業者を優先することが原則ですが、事業の特殊性や専門性に鑑み、施工可能な業者が限定される場合には、臨機、採用する入札手法を協議決定しています。

内容審査 No.1-① 概要		発注形態	指名競争入札
案件名	太田市社会教育総合センター舞台照明設備改修工事		履行場所 太田市熊野町地内
概要	・舞台照明器具の新設一式 ・主幹盤、調光盤、照明操作卓の新設一式 ・移動器具の新設一式 ・上記に伴う撤去処分一式		
指名業者数	8者	選定理由	太田市入札参加資格者名簿の「電気」工種に登録されている業者の中から、ホール舞台照明工事に実績のある業者を選定
予定価格	89,480,000円(事前公表)	落札価格	79,300,000円
最低制限価格	79,300,000円(事前公表)	落札率	88.62%
落札業者	株式会社 松村電機製作所		
入札結果	●指名業者8者中、辞退2者、残り6者入札。 ●(株)松村電機製作所が最低制限価格で入札し落札者として決定した。(4者によるくじ引き)		

内容審査 No.1-② 概要		発注形態	指名競争入札
案件名	太田市社会教育総合センター舞台機構設備改修工事		履行場所 太田市熊野町地内
概要	・マシン、滑車、ワイヤーロープ等の新設一式 ・上記に伴う撤去処分一式		
指名業者数	7者	選定理由	太田市入札参加資格者名簿の「機械器具設置」工種に登録されている業者の中から、ホール舞台機構工事に実績のある業者を選定
予定価格	43,880,000円(事前公表)	落札価格	39,330,000円
最低制限価格	39,330,000円(事前公表)	落札率	89.63%
落札業者	三精工事サービス 株式会社		
入札結果	●指名業者7者中、辞退4者、残り3者入札。 ●三精工事サービス(株)が最低制限価格で入札し落札者として決定した。(2者によるくじ引き)		

《 (2) 平成30年4月～9月期 入札契約の内容審査についての審議結果 》

◆内容審査 No.1 について

委員：この工事の種類は何ですか？公表資料のどこに記載されているのですか？

事務局：本案件は、指名競争入札による発注のため工事の種類等は記載されていません。公共工事の発注について、通常は条件付一般競争入札により発注しておりますが、本案件は先ほどご説明させていただいた発注内容のとおり指名競争入札で発注いたしました。指名競争入札では、発注する際に、本市の入札参加資格者名簿された業者の中から、発注条件に合う業者を発注者側が選定し指名するもので、指名された業者の中で競争に付して落札者を決める方式であることから、一般競争入札のように公告を行いませんので、工事の種類等の記載はありません。

委員：指名業者としてなぜこの8者を選定したのですか？

事務局：本来は、市内業者による一般競争入札を実施したいところですが、発注内容の専門性が高く市内業者では直接実施できる業者もないことから、公募方式でなく太田市入札参加資格者名簿の中から同種の実績のある業者を選定し指名するという形を取りました。但し、発注の際には、入札審査委員会という本市の入札に関する業務を承認していただく委員会に諮り、一般競争入札から指名競争入札に変更、および指名業者の選定について承認をいただいて実施しています。

委員：指名した8者が舞台装置等の施工実績があるというのはどこでわかるのですか？

事務局：発注担当課に施工実績を調査していただき推薦してもらっています。

委員：舞台装置、舞台照明といった工事ができる市内業者はいないのですか？

事務局：現状では市内業者では対応できないということです。市内業者が施工できれば理想ですが、内容的にも特殊で、土木、建築といった一般的な公共工事と違い、毎年定期的に発注される案件でないことから、専門性も高くなかなか市内業者では賄いきれない案件であると考えます。

委員：普通の電気設備の業者では難しいということですか？

事務局：入札参加資格者名簿の登録工種では、単純な電気工事の登録だけではなく、役務の舞台設備にも登録している業者であり、いずれも全国展開しているような業者が中心であり、現状では市内業者は難しいと考えています。

○内容審査 No.2 [条件付き一般競争入札(小規模型)]

① 市内一円(南部)路面標示工事

② 市内一円(北部)路面標示工事

●経過説明 (事務局より説明)

路面標示工事とは、道路の路面に描かれている車道中央線や外側線、また停止線などの各種表示を、特殊車両や特殊機材を用いて施工する塗装工事で、①、②案件は、市内を横断する「群馬県道2号 前橋・館林線」を境に北部と南部に分けて2つの路面標示工事を実施するものです。

路面標示工事は、元請施工が可能な業者に限られるということで、昨年度までは指名競争入札にて実施しておりましたが、落札率の高止まりなど、入札の形骸化が顕著なことから、今年4月より指名競争入札から条件付一般競争入札へと入札方法の見直しを行い発注しております。

内容審査 No.2-① 概要		発注形態	条件付き一般競争入札
案件名	市内一円(南部)路面標示工事	履行場所	市内一円(南部)地内
概要	区画線補修工 L=6,400m (実線 W=15 cm)		
主な入札参加資格要件	(1)工種: 塗装 (2)等級: 等級なし (3)地域要件: 準市内 (4)実績: 平成15年度以降に、路面標示(区画線及び道路標示)の元請施工監理実績または下請の施工実績を有すること。		
予定価格	4,620,000円(事前公表)	落札価格	3,840,000円
最低制限価格	3,840,000円(事前公表)	落札率	83.12%
落札業者	株式会社 友邦		
入札結果	<ul style="list-style-type: none"> ●参加申請があった6者中1者辞退、残り5者入札。 ●(株)友邦が最低制限価格で入札し落札者として決定した。(5者によるくじ引き) 		

内容審査 No.2-② 概要		発注形態	条件付き一般競争入札
案件名	市内一円(北部)路面標示工事	履行場所	市内一円(北部)地内
概要	区画線補修工 L=6,400m (実線 W=15 cm)		
主な入札参加資格要件	(1)工種: 塗装 (2)等級: 等級なし (3)地域要件: 準市内 (4)実績: 平成15年度以降に、路面標示(区画線及び道路標示)の元請施工監理実績または下請の施工実績を有すること。		
予定価格	4,620,000円(事前公表)	落札価格	3,840,000円
最低制限価格	3,840,000円(事前公表)	落札率	83.12%
落札業者	株式会社 日装		
入札結果	<ul style="list-style-type: none"> ●参加申請があった5者中1者入札条件により対象外、残り4者入札。 ●(株)日装が最低制限価格で入札し落札者として決定した。(4者によるくじ引き) 		

《 (2) 平成30年4月～9月期 入札契約の内容審査についての審議結果 》

◆内容審査 No.2 について

委員 : 入札方法を見直したのはなぜですか？

事務局 : 市内各所で路面標示がはがれたり、消えたりして見えなくなっているところがかかり多くなってきており、今後はこのような補修工事の発注がかかり見込まれる中で、昨年の入札審査委員会の中で路面標示工事の落札率の高さが話題となったことから発注方法の見直しについて協議していただいた結果、昨年まで元請施工が可能な5業者(うち準市内2者)による指名競争入札を行っていましたが、実質的な入札の形骸化が見られることや、道路状況も輸送大型車両の往来や交通量の総量増加等による摩耗や劣化等が激しく今後一層の発注機会の増加が予想されることから、今年度より、より多くの業者が参加できる条件付き一般競争入札に入札方法を変更しました。

- 委員：見直した結果、入札参加状況はどうですか？
 事務局：現状では、指名競争入札と一般競争入札で業者の顔ぶれは変わらない状況となっていますので、今後は、発注条件等の見直しを図るなど、より多くの業者が参加できるような条件を検討していきたいと考えています。
- 委員：現在、上半期で2件ですが、このような案件はこれで終わりですか？下半期もあるのですか？
 事務局：毎年、下半期も同じように発注がありますので、今年も同様にあると思います。
- 委員：同じ時期に数件同時に発注がある場合はどうするのですか？
 事務局：条件付き一般競争入札で実施しておりますので、条件の中に、同時に2件以上の落札はできないというような条件を付して発注します。取り分け条件と言っております。
- 委員：業者の顔ぶれが同じだが、塗装という工種はこの5者以外にいないのですか？
 事務局：塗装という工種に登録している業種はいっぱいいるが、塗装にもいろいろありますので、今回の路面標示というような特殊な塗装の分野を専門的にできる業者はあまり多くないので、毎回概ねこの5者の競争となることが多いのが現状です。ただ、今年度より一般競争入札に変更したことにより、1者、新しい業者(辞退してはいますが)の参加がありましたので、今後も一般競争入札にしたことにより、他にも新しい業者が参入することで競争が活発になることを期待しているところです。

○内容審査 No.3 【随意契約】
 (仮称) 太田市立北中学校区義務教育学校施設整備設計業務委託

●発注概要・経過 (事務局より説明)

[経緯説明]

こちらの案件は、学校施設管理課より依頼がありました、太田東小学校、菰川西小学校及び北中学校の3校を一つにした施設一体型の「義務教育学校」を現在の北中学校の敷地に 2021年度に開校するために必要な校舎、体育館等を造るための設計業務委託でございます。

当該施設の整備設計業務委託は、設計者の選定にプロポーザル方式を採用しておりまして、その選定委員会による審査を通じて特定された業者であるシーラカンスケイアンドエイチ(株)と地方自治法施行令第167条の2第1項第2号(その目的が競争入札に適さないため)による随意契約といたしました。

[プロポーザル方式による契約方式を選定した理由]

施設の建設については、限られた予算の中で、敷地の特性や既存施設を最大限に活かす提案が求められていることから、入札の方式としては、設計業務を価格のみで競争する一般競争入札、指名競争入札で実施するのではなく、民間事業者の知識・技術・ノウハウ等を最大限に活かせる選定方法として設計業者からの技術提案いただき、価格競争だけでなく、発注側のコンセプトに対応する企画能力を評価するという、プロポーザル方式を採用し、設計業務を担当する業者の選定を実施いたしました。

また、今回の設計業務はプロポーザル方式を採用して、設計業者から提案して業者を選定いたしました。が、来年度実施される校舎等施設の建設工事は、市内業者による競争入札を実施し、価格競争により施工業者を決定する予定です。

内容審査 No.3 概要		発注形態	随意契約
案件名	(仮称)太田市立北中学校区義務教育学校施設整備設計業務委託	履行場所	太田市熊野町2番1地内
概要	(仮称)太田市立北中学校区義務教育学校施設整備に係る基本設計、実施設計及び、その他追加業務一式		
契約年月日	平成30年10月10日		
履行期間	平成30年10月11日～平成31年3月31日		
予定価格	64,760,000円 (税抜き)		
落札価格	64,760,000円 (税抜き)	落札率	100.00%
契約の相手方	所在地 名称 代表者名	東京都杉並区永福2-23-5 シーラカンスケイアンドエイチ 株式会社 代表取締役 堀場 弘	

随意契約理由	(仮称) 太田市立北中学校区義務教育学校の設計業務委託は、設計者の選定にプロポーザル方式を採用した。本契約は、その選定委員会による審査を通じて特定された業者と契約するもので、競争入札に適さない。
上記の業者を選定した理由	上記理由(目的)を達するには、(仮称) 太田市立北中学校区義務教育学校施設整備設計プロポーザルの審査において特定されたシーラカンスケイアンドエイチ株式会社を選定する必要がある。
随契根拠法令	地方自治法施行令第 167 条の 2 第 1 項第 2 号

《 (2) 平成 30 年 4 月～9 月期 入札契約の内容審査についての審議結果 》

◆内容審査 No.3 について

委員：太田東小学校と葦川西小学校の場所はどの辺になりますか？

事務局：太田東小学校の所在地は太田市東本町にあり、SUBARU 本工場や石橋建設工業の西側で、市役所から社教センターに行く道路の東側にある小学校で、葦川西小学校は国道 122 号線をイオン太田方面から太田桐生 IC に向かう途中にある東武伊勢崎線の陸橋を越えた左側にある小学校です。

委員：両方とも(太田市立)北中学校と場所は近いのですね。両校はそんなに児童数が少ないのですか？

事務局：太田東小学校は太田小学校の分校としてできた学校で、葦川西小学校も葦川小学校から分かれた学校ですので、両校とも元々そんなに児童数は多くないと聞いておりますが、近年は、ますます児童数が減少していることから、このような計画が始まったということです。

委員：今後もこのように小・中学校を合わせた義務教育学校という形の学校を増やしていく予定なのですか？

事務局：この学校以外に決定している計画は聞いておりません。今回のケースは、あくまでもモデルケースとして実施するものと太田市教育委員会からは伺っています。

委員：プロポーザル方式とはなんですか？

事務局：プロポーザル方式は、発注者が、複数の設計者から対象プロジェクトの設計業務に対する組織体制、実施方法、プロジェクトに対する考え方等についての技術提案を求め、必要に応じてプレゼンテーションやヒアリングを行い、設計者を選ぶ方法です。プロポーザルでは、あくまで設計委託にふさわしい「人」を選ぶ方法となっております。

委員：資料にプロポーザル方式の実施結果がありますが、これを見ますと 6 者がプロポーザルに参加しておりますが、参加した理由がわかりますか？

事務局：プロポーザルによる発注は、太田市の HP を利用して公告しておりますので、全国の設計業者が確認することはできるのですが、確かな参加理由はわかりませんが、参加された業者の傾向を見ますと、過去に太田市の仕事を受注したことがある業者や、他の自治体等で学校等の設計を多く受注している業者が多いようです。

委員：このほかに太田市がプロポーザル方式より発注している案件はあるのですか？

事務局：プロポーザル方式による太田市の発注実績は、直近 3 年間では、太田市運動公園野球場、陸上競技場、太田市民会館、美術館・図書館、あとは八王子山墓園納骨堂の設計業務委託等です。

5 その他 (特になし)

6 閉会